

「巡回監査体制再構築プロジェクト」継続します

巡回監査体制再構築プロジェクトリーダー 寺本 和生

巡回監査体制再構築プロジェクトの一年目の活動がすべて終了いたしました。
ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。
まずは今年度に受講して下さった職員の皆さんの感想をご紹介します。



1 このプロジェクト研修会(全体)で手に入れたこと

- ・同じ悩みをかかえている方との情報共有ができた!
- ・ツール・システムを活用することで合理化を図ることができると再認識できた
- ・やるべきこと、今できていること、できていないことを認識できた
- ・同じ悩みを持つ仲間とディスカッションすることで、まずやってみよう!という前向きな気持ちになった
- ・巡回監査支援システムは「報告用」だと思っていたが、監査時に実用的に使えることが分かった
- ・事務所間での違いや様々なアイデアを聞いた
- ・巡回監査の意義への理解 巡回監査の大切さを理解できた
- ・支援システムの使用法の理解から事務所内での報告の方向性が決まった
- ・支援システムの活用範囲(書面添付に生かすなど)が大きいことを知ることができた
- ・監査の現場で使えるようになった!
- ・属人的な監査(エクセル利用)から脱却できた
- ・最初から支援システムを使っていればよかった
- ・初期指導や巡回監査が、「やらなければならない」という意識が変わった

職員同士のディスカッション、情報交換ができた!

巡回監査支援システムを効果的に使えるようになった!

気持ちが前向きになった!

2 初期指導、巡回監査時の課題(解決したいこと)

- ・同じ悩みをかかえている方との情報共有ができた!
- ・ツール・システムを活用することで合理化を図ることができると再認識できた
- ・やるべきこと、今できていること、できていないことを認識できた
- ・同じ悩みを持つ仲間とディスカッションすることで、まずやってみよう!という前向きな気持ちになった
- ・巡回監査支援システムは「報告用」だと思っていたが、監査時に実用的に使えることが分かった
- ・事務所間での違いや様々なアイデアを聞いた
- ・巡回監査の意義への理解 巡回監査の大切さを理解できた
- ・支援システムの使用法の理解から事務所内での報告の方向性が決まった
- ・支援システムの活用範囲(書面添付に生かすなど)が大きいことを知ることができた
- ・監査の現場で使えるようになった!

- ・属人的な監査(エクセル利用)から脱却できた
- ・最初から支援システムを使っていればよかった
- ・初期指導や巡回監査が、「やらなければならない」という意識が変わった

職員同士のディスカッション、情報交換ができた!

巡回監査支援システムを効果的に使えるようになった!

気持ちが前向きになった!

3 次年度プロジェクト研修会への要望

- ・実際の使用や活用事例を聞く機会が欲しい
- ・初期指導の経験談などを聞きたい特にマイナスの面も聞きたい
- ・巡回監査支援システムを利用したうえでの社長への報告方法
- ・知識を得るための研修であるならば、テーブルにTKC会員やTKC社員が居てほしい
- ・巡回監査支援システムについて自信が無いので、システムの研修機会が欲しい
- ・具体的な事例(モデルケース等)を使ったディスカッション
- ・システムを見ながらのディスカッションが良かった TKC社員が居てほしい
- ・実務で使用している効率化方法の共有
- ・初期指導チェックシートの簡易版があるとハードルが下がる
- ・インボイスに対応しているもの

使用事例、活用事例、経験談を聞きたい

グループディスカッションにTKC会員、TKC社員が居てほしい

システムを使用したディスカッションは良かった

会計事務所が、税理士法により全部監査を要求されているのは周知のとおりです。

飯塚毅初代会長は、会計事務所発展のためには、全部監査を効率的に実践できる事務所体制を構築することが不可欠であると説かれました。

国家権力の代弁者である税務署と事務所の収入源であるお客様の間にあって独立性を保持しつつ、全部監査を実施する。所長が、会計事務所に課せられた二律背反性を乗り越えて、正しい意思決定をするためには、自らの心の鍛錬が不可欠であると、祈りを込めて私たちに訴えてくださいました。

飯塚毅初代会長は、さらに、次のように続けられます。

会計事務所の所長が、巡回監査体制構築の意思決定をしたあとに残される課題はただ一つ。それは職員の錬成の問題しかないのだと。

近畿京滋会の「巡回監査体制再構築プロジェクト」は、高付加価値経営が実現できる事務所が一件でも増えることを願って、佐藤正行会長の肝いりで発足しました。所長先生の意思決定をうけて、そのあとに残されている職員錬成の支援をするためにこの再構築プロジェクトは、できる限りの支援をさせていただきたいと願っています。

参加された職員さんのコメントを読ませていただくと、当初の目的にしっかりと沿ったプロジェクトになりつつあると感じています。今期参画いただいた事務所も、これからやってみようかと決断される事務所も、一件でも多く、このプロジェクトの趣旨をご理解いただきたいと思います。

新年度のプロジェクト、一緒にやっていきましょう!!